



【本送信票を含む3枚】

令和7年9月30日

“棚田みらい応援団”が歌見の棚田で保全活動を行います

新潟県では、棚田保全活動に参加していただける企業等を“棚田みらい応援団”とし、棚田を維持管理したいが人手が足りない中山間地域とマッチングして共に活動しています。

協働活動することにより、農作業支援はもちろん、都市住民との交流を促進し、地域活性化を図ります。

つきましては、下記のとおり棚田みらい応援団の活動を行います。

記

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 1 日 時 | 令和7年10月5日(日) 午前9時40分～12時00分 |
| 2 場 所 | 佐渡市歌見棚田 |
| 3 主 催 | 新潟県 |
| 4 内 容 | 詳しくは別紙「新潟県報道発表」をご確認ください。 |

*取材いただける場合は、事前に新潟県農地部農村環境課担当(電話 025-280-5367)までご連絡をお願いいたします。



本件についての問合せ先

佐渡市 農業政策課 トキ里山振興係

電話(直通)0259-63-5117

担当: 佐々木





～企業 SDGs活動による棚田保全活動～



“棚田みらい応援団”が佐渡市歌見地区の
棚田で保全活動を行います

県では、棚田保全活動に参加していただける企業や学生ボランティアを「棚田みらい応援団」として募集し、棚田での営農作業や環境整備活動等を支援しています。

本取組は、農作業の支援や協働作業を通じて都市と農村との交流を促進し、棚田の保全と地域の活性化を図ることを目的としています。

つきましては、下記のとおり棚田みらい応援団の活動を行います。

記

- 1 日 時：令和7年10月5日（日）午前9時40分から正午頃まで
- 2 活動地域：佐渡市歌見地区『つなぐ棚田遺産』認定棚田 No. 60
集合場所：佐渡市歌見地区
集合時刻：午前9時40分
- 3 作業内容：棚田の稲刈り等
- 4 参加団体
佐渡汽船株式会社、佐渡測量株式会社、TOPPAN エッジ株式会社
日本航空株式会社新潟支店、東日本旅客鉄道株式会社新潟支社、
三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社
- 5 その他
 - ・添付資料（陸・海・空の交通事業者三社による共同リリース）
 - ・荒天等により中止する場合があります。
 - ・当日の取材にあたっては、上記集合時刻までにお集まりください。



【本件についてのお問合せ先】

農地部農村環境課

中山間地域対策推進係

担当：星野、風間

電話：025-280-5367（内 3176）

当日の連絡先：090-2994-5498（風間）

(報道関係各位/取材案内)

2025 年 9 月 24 日
東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社
佐渡汽船株式会社
日本航空株式会社 新潟支店

10月5日(日) 陸・海・空の交通事業者3社が連携 佐渡島での棚田保全活動(稲刈り)実施について

東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社(執行役員新潟支社長 白山弘子)と佐渡汽船株式会社(代表取締役社長 尾渡英生)、日本航空株式会社 新潟支店(支店長 筒井玲子)は、昨年に引き続き(*1)、新潟県が実施している「棚田みらい応援団」として、「佐渡島の金山」を有する新潟県佐渡市にて棚田保全活動を実施します。



新潟県では 8 市町 36 地区にある棚田が、農林水産省の「つなぐ棚田遺産」(*2)に選定されています。棚田は、山間地特有の寒暖差や清水を活かして良質なお米をつくり、やすらぎのある美しい景観を形成するだけでなく、土地の傾斜や貯水機能により、洪水や地すべりなど、下流域に影響を及ぼす災害を未然に防止します。また、棚田に生息する生き物の生態系維持につながり、森林などの環境保全・国土保全の観点でも大きな役割を担っています。

2024 年 7 月には、江戸時代に本格化した鉱山開発において高度な手工業による採掘と製錬技術を継続した世界的にも他に類を見ない事例として評価され、「佐渡島の金山」がユネスコ世界文化遺産に登録されました。

本年度も 3 社は、棚田の持つ多面的な機能への理解を深め、保全活動を通して地域社会へ貢献し、佐渡の魅力を高めることで関係人口創出に繋げてまいります。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひともご取材いただきますようお願い申し上げます。

【「棚田みらい応援団」活動概要】

実施日程：2025 年 10 月 5 日(日) 9 時 40 分集合

場 所：新潟県佐渡市歌見地区

(「つなぐ棚田遺産」認定棚田 No. 60)

作業内容：棚田の稲刈り

参加団体：東日本旅客鉄道 新潟支社、佐渡汽船、日本航空 新潟支店、他



新潟県農地部
公式キャラクター
棚田みらいちゃん

(*1)2024 年 9 月 27 日付エリアニュース「10 月 6 日、世界文化遺産の佐渡で棚田保全活動の稲刈りを実施」

URL:<https://press.jal.co.jp/ja/areanews/release/202409/008348.html>

(*2)棚田地域の振興に関する取り組みを積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対する理解を得ることを目的として、優良な棚田を認定する農林水産省の取り組み